

【広島市消費者物価指数】

1 平成 27 年 5 月の動向

- 広島市総合指数（104.1）は前月比で3か月連続の上昇。前年同月比は23か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（103.3）は前月比で3か月連続の上昇。前年同月比は23か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（100.8）は前月比で4か月ぶりの下落。前年同月比は20か月連続の上昇。

2 総合指数, 生鮮食品を除く総合指数, 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	104.1	0.3	1.4
生鮮食品を除く総合指数	103.3	0.1	0.7
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	100.8	▲0.2	0.3

3 前月からの動き

～食料は上昇, 教養娯楽は下落～

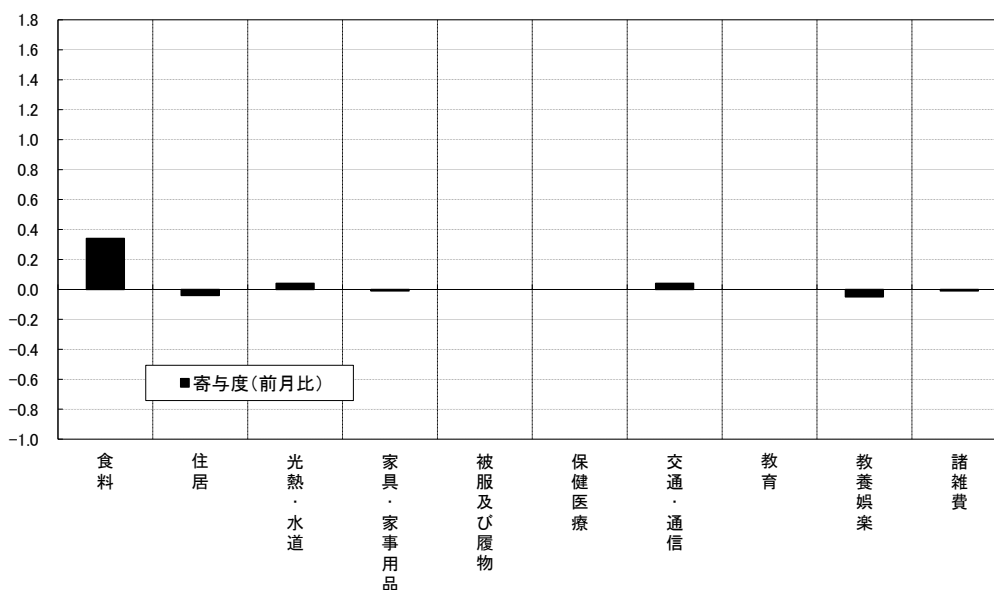
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	104.1	109.8	99.4	113.5	97.6	105.6	101.1	102.8	99.5	96.5	109.7
前月比 (%)	0.3	1.3	▲0.2	0.4	▲0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	▲0.5	▲0.2
寄与度	0.3	0.34	▲0.04	0.04	▲0.01	0.00	0.00	0.04	0.00	▲0.05	▲0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：野菜・海藻（前月比 5.8%, 寄与度 0.17）等
 教養娯楽：教養娯楽用耐久財（前月比 ▲5.5%, 寄与度 ▲0.09）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
野菜・海藻 (キャベツ 等)	5.8%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲5.5%
果物	4.4%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.3%
菓子類 (ケーキ 等)	2.2%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲1.6%
電気代 (電気代)	1.4%	酒類 (ビール風アルコール飲料 等)	▲1.3%
肉類 (鶏肉 等)	1.5%	他の諸雑費 (保育所保育料 等)	▲1.2%

4 前年同月からの動き

～食料は上昇, 交通・通信は下落。～

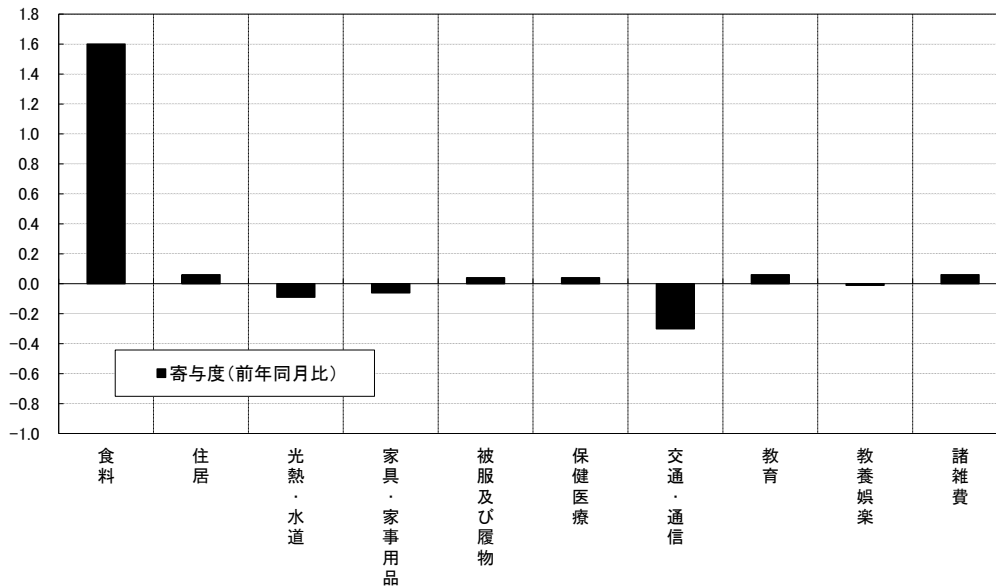
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	1.4	6.3	0.3	▲1.0	▲1.6	0.8	0.9	▲2.2	1.9	▲0.1	0.9
寄与度	1.4	1.60	0.06	▲0.09	▲0.06	0.04	0.04	▲0.30	0.06	▲0.01	0.06

(参考) 主な要因となっている10大費目について, 寄与の大きかった中分類項目

食 料: 野 菜 ・ 海 藻 (前年同月比 17.4%, 寄与度 0.47) 等
 交通・通信: 自動車等関係費 (前年同月比 ▲3.5%, 寄与度 ▲0.27) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
野菜・海藻 (キャベツ 等)	17.4%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲3.5%
調理食品	10.4%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲6.0%
菓子類 (ケーキ 等)	9.7%	穀類 (うるち米 等)	▲4.1%
果物 (バナナ 等)	18.9%	シャツ・セーター類	▲6.3%
魚介類 (ぶり 等)	8.2%	通信 (携帯電話通信料 等)	▲1.9%